

# 葛飾区都市計画マスタープラン の改定にかかる 第4回地域別勉強会

葛飾区 都市計画課  
令和4年4月24日



## 本日の流れ

1

1. 開会
2. 座学【25分】
  - ・ 第3回地域別勉強会の振り返り
  - ・ 地域の将来像とまちづくりの基本方針
  - ・ 第2・3回勉強会で得られたキーワード等
3. **グループワーク**【115分】
  - ・ 個人ワーク
    - ◎地域の将来像の検討
    - ◎地域のまちづくり基本方針の修正
  - ・ グループ内の意見交換
  - ・ グループ意見の発表 ファシリテーターが発表
4. 閉会

# 座学①

- ・ 第3回地域別勉強会の振り返り
- ・ 地域の将来像とまちづくりの基本方針

## 第3回勉強会の振り返り

3

### ご意見と回答

#### 町会長宛てのまとめ表について

ご意見	回答・考え方
町会長宛てに「まとめ表」を作っ てほしい。	各回の地域別勉強会でテーブル毎に出た意見をまとめたものが ニュースとなっております。また、地域別勉強会のとりまとめは第5 回で行います。そこで、地域別構想の全体像が把握できます。さらに、 地域別構想の成果は、第5回都市計画マスタープラン策定委員会で報 告し、その資料をHPにアップロードいたします。そこで、地域別構 想の成果をご確認できるようになります。なお、令和5年度に都市計 画マスタープランを策定しましたら、行政連絡会で報告をする予定で す。

#### その他地域との交流について

ご意見	回答・考え方
各テーマが葛飾区内でも重要度が 違ってくるので、そのうち交差がで きる会があるとうれしい。	各地域の検討状況については、ニュースで毎回確認できるように しております。また、第6回地域別勉強会は全体会を開催する予定で す。そこで、各地域の勉強会の成果を発表しますので、各地域の「将 来像」「まちづくり基本方針」「各テーマの整備方針」について聞く ことができます。

①水元・金町・新宿

市街地整備	防災	復興
<p>◎区画整理【水】 →金町だけでなく水元にも地域の拠点を設定し、水元図書館、保健所、区民事務所をまとめる【水】</p> <p>◎東金町再開発による新たな人・街ができる、道路が整備される【金】</p> <p>▲今のうちに水元中央通りの街並景観形成、店舗の誘致を検討すべき【水】 →水元中央通り沿道への地区計画の導入・電柱の地中化【水】</p> <p>▲エリマネ組織はたいてい再開発の後のまちづくりのために設立するが、水元地域でそのような中間支援組織ができるのかどうか【水】</p> <p>▲駅前道路幅が狭い【金】 →駅前道路が狭いので、バス等を一方通行化して混雑を解消させるまたは道路の拡幅が必要【金】</p> <p>▲東金町3丁目の町内には公園がない、子どもやファミリー層が安心して暮らせるようにしてほしい、高齢者用のベンチもない【金】 →地域内に公園がないため、行政に駐車場を買収してもらい公園をつくってもらう【金】</p>	<p>◎水元総合スポーツセンターがあり、災害時に活用できる【水】</p> <p>▲水元区民事務所は狭く、浸水してしまうため防災拠点とならない【水】 →生活拠点に位置付け区民事務所、図書館、保育所等の移転【水】</p> <p>▲想定される水害被害を真剣に意識してもらおう対策が必要【水】 →地域の魅力、防災づくりなど、都との連携をもっと強く【水】</p> <p>▲コロナの影響で思うように避難訓練ができなく困っている【金】</p> <p>▲住民の防災意識が、薄れている【金】</p> <p>▲防災公園や防災設備があるのに区民に知られていない【金】 →街・町会、商店街、理科大、企業、学校等の防災ネットワークとなる本部機能、拠点機能の設置【金】 →理科大と地元が協定を締結し、若者を派遣してもらい、情報発信等を行ってもらう【金】 →新しく来た人も情報を把握できるように、放送局をつくったり、SNS、紙媒体、TVなどで情報発信【金】</p>	<p>【被災後も残したい魅力】</p> <p>◎中川土手の遊歩道や水辺の公園【水】</p> <p>◎大場川の桜【水】</p> <p>◎にいじゅくみらい公園【金】</p> <p>◎江戸川土手の取水塔等の風景【金】</p> <p>【復興時に解決したい課題】</p> <p>▲高層建物の機械室等は地下ではなく2階以上にしていくべき【水】</p> <p>▲救援できるように啓開道路整備【水】</p> <p>▲線路沿いに東西方向の道路整備【金】</p> <p>▲無電柱化【金】</p> <p>【地域でできる復興の事前準備】</p> <p>・水元でも高低差がある、住民が情報を知れるように勉強会等の開催【水】</p> <p>・自治会などに関わっていない人のため、SNS等で情報発信【金】</p> <p>【中高層・高床化促進地区】</p> <p>・中高層・高床化にかかる費用をどうするか課題【金】</p> <p>・どれだけ床をかき上げるか問題【金】</p>

凡例：魅力(◎) / 課題(▲) / 対応策(→) / 水元(水) / 金町(金) / 新宿(新)

②柴又・高砂

市街地整備	防災	復興
<p>◎柴又駅周辺は街並みのルールがしっかりしている【柴】</p> <p>◎新柴又駅は夕夕乗り場が広い【柴】</p> <p>◎静かな街【高】</p> <p>◎高砂地区のまちづくり構想により再開発の機運が高まっている【高】</p> <p>▲道路幅員が狭い【柴】 →住民と話して可能なら区画整理【柴】</p> <p>▲道が狭い、駅前の街路が狭い【高】</p> <p>▲自転車置き場が少ない【高】 →駅前再開発の時に、ビルもしくは駅の周辺地下に駐輪場の整備【高】</p> <p>▲平日昼間の人通りが少ない、出掛ける場所・人が集まる場所がない【高】</p> <p>▲駅前に人が集える場所がない【高】 →高架化した京成線の線路下に、住民が気軽に集える機能を設ける【高】 →京成車庫を魅力ある施設に開発【高】</p> <p>▲エリアマネジメント活動をしたいけども、どのように始めたら良いか、どんな団体があるのかかわからない【高】 →魅力ある川・道路沿いで活動する小さなエリアマネジメント活動から始め、活動エリアを広げていく【高】</p>	<p>▲高台の避難場所の整備【柴】 →住宅の高層化の時に避難スペースの確保を依頼【柴】</p> <p>▲洪水で避難できる高台がない【高】</p> <p>▲避難できる大規模公園がない【高】</p> <p>▲収容人数不足で避難場所少ない【高】 →洪水時に遊水地となるような親水公園と水辺の整備【高】</p> <p>▲北総線の高架の有効活用【柴】 →区と北総線との水害時の対応について話し合い【柴】</p> <p>▲建物の倒壊により道路が塞がらない幅員を【柴】 →延焼遮断帯道路の建設【柴】</p> <p>▲拠点地域は木造住宅が密集【高】</p> <p>▲狭い道路沿いに耐震性のない古い木造建築物や空き家が建ち並ぶ【高】 →道路の拡幅【高】</p> <p>▲防災器具等を設置しない等、住民の防災への意識が低い【高】</p> <p>▲水害訓練【高】 →災害訓練、訓練のイベント化【高】</p>	<p>【被災後も残したい魅力】</p> <p>◎下町らしさ、坂が少ない【柴】</p> <p>◎寺社、商店街、閑静な住宅地、水辺空間、水辺プロムナード【高】</p> <p>【復興時に解決したい課題】</p> <p>▲道路整備【柴】</p> <p>▲小川・水路を復活し、水辺の多い街に【高】</p> <p>▲道路拡幅【高】</p> <p>【地域でできる復興の事前準備】</p> <p>・まちづくりに関するイベント開催【柴】</p> <p>・様々な世代が参加しやすい復興模擬訓練の実施【高】</p> <p>【中高層・高床化促進地区】</p> <p>・賛成【柴】</p> <p>・賛成だが、高床化は難しい【高】</p>

凡例：魅力(◎) / 課題(▲) / 対応策(→) / 柴又(柴) / 高砂(高)

③ 亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋

市街地整備	防災	復興
<p>◎亀有駅南口の開発が進んでいる【亀】</p> <p>◎お花茶屋駅前に広い公園がある【お】</p> <p>◎幅員の広い骨格道路【南・堀】</p> <p>▲亀有駅北口はロータリー整備、周辺の景観、空き家が課題【亀】</p> <p>→駅前広場、道路、空き家、景観の改善【亀】</p> <p>▲ワンルームの居住者は、いずれ区から出て行ってしまふ【南・堀】</p> <p>→若い世代の視点に立って地域の良さを継承できるまちづくり【南・堀】</p> <p>▲駅前商店街利用時の自転車対策【南・堀】</p> <p>→駐輪場だけでなく、気軽に自転車を止めながら買い物できる商店街づくり【南・堀】</p> <p>▲綾瀬駅の市街地整備が足立区任せ【南】</p> <p>→区民主体で、勉強会を引き継いで意見交換を気軽にできる場を続ける【南・堀】</p>	<p>◎細街路整備事業が進んでいる【亀】</p> <p>◎小菅拘置所のオープンスペース【南・堀】</p> <p>→拘置所への避難を想定した大規模な避難訓練【南・堀】</p> <p>◎毎年地域での防災訓練を実施している【南・堀】</p> <p>▲木造住宅が密集している区域があり、道が狭い【亀】</p> <p>▲駅前以外は無電柱化が進んでいない【亀】</p> <p>▲民間の建物の協力が得づらく、身近な避難先がない【亀】</p> <p>→公共施設が少ないので、近所のマンションと協定を締結して避難【亀】</p> <p>▲マンション等との垂直避難の提携推進【南・堀】</p> <p>→集合住宅に避難できるようにする【南・堀】</p> <p>▲水害への対応【亀・お・南・堀】</p> <p>→堤防整備の際、テラス整備などを行い、平常時の魅力を高める【亀】</p> <p>→水害をテーマにした勉強会、ワークショップ開催【南・堀】</p>	<p>【被災後も残したい魅力】</p> <p>◎人情、街並み、高さ制限等の下町らしさ【亀】</p> <p>◎小菅一丁目の街並み、堀切菖蒲園と江戸時代からの文化【南・堀】</p> <p>【復興時に解決したい課題】</p> <p>▲亀有二丁目の密集の区画整理【亀】</p> <p>▲区画整理で作り直すことが必要【南・堀】</p> <p>【地域でできる復興の事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関わりを作り、事前に何を残すか話しておく【亀】</li> <li>・若い人が集まれる広場等の整備【南・堀】</li> <li>・南綾瀬地区でも震災復興まちづくり模擬訓練を実施してほしい【南・堀】</li> </ul> <p>【中高層・高床化促進地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成だが、浸水深さを考慮した優先順位、北側斜線等の問題がある【亀】</li> <li>・集合住宅、共同住宅への建替えを進める【南・堀】</li> <li>・水没を前提にしないように他の対策も【南・堀】</li> </ul>

凡例：魅力(◎) / 課題(▲) / 対応策(→) / 亀有(亀) / 南綾瀬(南) / 堀切(堀) / お花茶屋(お)

④ 青戸・立石・四つ木

市街地整備	防災	復興
<p>◎シンフォニーヒルズ、税務署、保健所、テクノプラザ、平和公園等【青】</p> <p>◎立石駅前の再開発が進んでいる【立】</p> <p>▲駅前広場やイベント広場がない【青】</p> <p>→青砥駅前広場の再整備【青】</p> <p>▲バス、タクシー乗り場が不便【青】</p> <p>→バスやタクシー乗り場の整備【青】</p> <p>▲再開発エリア周辺の基盤整備、街並み整備が必要【立】</p> <p>→車の利便性だけでなく、歩行者、自転車のことも考える【立】</p> <p>▲大きな公園の整備が必要【立】</p> <p>→広いエリアのランドデザイン【立】</p> <p>▲道路整備の不備(通過交通への対応)【立】</p> <p>→奥戸街道の整備【立】</p> <p>→水道みちの整備、駅北口駅前広場のアプローチ道路は複数あると良い【立】</p> <p>▲四つ木駅の周辺は大型車が通れない、一方通行などが問題【四】</p> <p>→駅前にバスが停まれるスペースが必要【四】</p> <p>▲駅近くに駐輪場が欲しい【四】</p> <p>→高架下の活用：駐輪場、公園等【四】</p> <p>▲交通量は多いが、狭い道がある【四】</p> <p>→複雑な街路の簡素化又は案内強化【四】</p>	<p>◎東立石緑地公園が防災拠点として活用されている【立】</p> <p>◎マンションを避難所として登録【立】</p> <p>▲駅前歩道の整備【青】</p> <p>▲青砥駅周辺の道路の拡幅【青】</p> <p>▲木造住宅が密集している【青・立】</p> <p>▲狭い道路の再整備が必要【立】</p> <p>▲大型消防車通行不可の道が多い【四】</p> <p>→狭い道路の拡幅【四】</p> <p>▲電柱倒壊で通行できなくなる【青】</p> <p>→延焼防止のための道路拡張【青】</p> <p>→無電柱化、地区計画の活用【青】</p> <p>▲水害の不安【立】</p> <p>→再開発の際に周辺の人もマンション等に避難できるように【立】</p> <p>→官民が協力した備蓄等の取り組み【立】</p> <p>▲近くにマンションはあるが、水害時の避難の取り決めがない【四】</p> <p>→新しいマンションを建てる時に緊急時に避難できるように相談【四】</p> <p>▲地区センターは狭く、避難所は学校くらいしかない【四】</p> <p>→浸水対応建築物として、イトーヨーカドーの駐車場などを指定【四】</p>	<p>【被災後も残したい魅力】</p> <p>◎青戸平和公園【青】</p> <p>◎まちの産業である工業地域、立石様、熊野、原稻荷等の神社【立】</p> <p>【復興時に解決したい課題】</p> <p>▲オープンスペースの確保【青】</p> <p>▲密集市街地の区画整理【立】</p> <p>▲立石駅前商店街のあり方【立】</p> <p>▲大きな公園【四】</p> <p>▲地域全体のかさ上げ【四】</p> <p>【地域でできる復興の事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の水路の活用、船着き場【青】</li> <li>・何が想定されるか、リスク・まちの復興を話し合うことから始める【立】</li> <li>・震災復興まちづくり模擬訓練は強制にしないと参加しない【四】</li> </ul> <p>【中高層・高床化促進地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青戸六丁目の木造家屋の高床化【青】</li> <li>・賛成だが日照権の問題、既存の高さ制限との兼ね合い、コストがかかる問題がある【立】</li> <li>・今の地盤高に建てるなら賛成【四】</li> </ul>

凡例：魅力(◎) / 課題(▲) / 対応策(→) / 青戸(青) / 立石(立) / 四つ木(四)

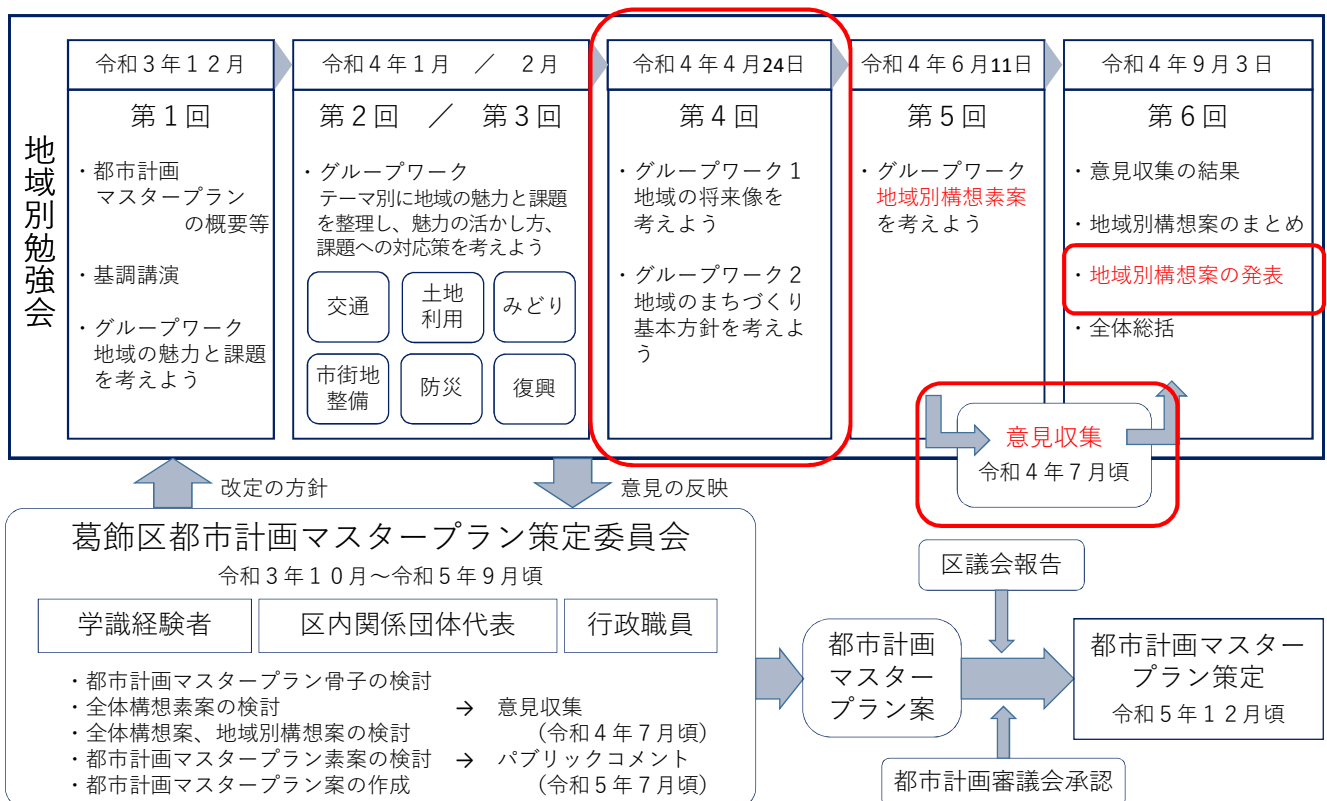
⑤奥戸・新小岩

市街地整備	防災	復興
◎東北口広場に民間の駐輪場が整備された【新】 ▲道路の広さと建物の均一化【奥】 →歩道のバリアフリーと無電柱化【奥】 ▲東北広場の活用が進んでいない(周辺の再開発が進んでいないから)【新】 →北口駅前広場の有効活用、マルシェ等の開催【新】 ▲市街地未整備の土地が多く、道路が狭く、早急な課題【新】 →バス：区道の拡幅【新】 ▲区の公園が少なく、子どもの遊び場がない【新】 →児童遊園はあるが魅力がない、もっと区民が関わるようにする【新】 ▲商店街だから拠点として良いのか、今は通信技術も発展し、商店街のあり方も変わる【新】	◎町会の区民消防隊で毎月、訓練している【新】 ▲避難場所になる高い建物がない【奥】 ▲水害時の避難所対策(学校、体育館)【奥】 →学校建替え時に浸水対応型の建設を望む【奥】 →奥戸消防跡地の利用(防災公園等)【奥】 ▲若い町会員のための専用SNS等を運営する人手がない【奥】 →町会からSNSで発信【奥】 →区の持つ情報をどう得るか、HPからダウンロードできると良い【奥】 ▲旧松南小の高台化と防災活動拠点化【新】 →旧松南小の防災活動拠点化【新】 ▲新小岩四丁目は5階以上の建物が少なく、避難場所は学校のみ【新】 →建物の床を高くする【新】	【被災後も残したい魅力】 ◎交通公園、神社、寺【奥】 ◎神社、寺、七曲【新】 【復興時に解決したい課題】 ▲復興計画の活用方法(町会単位で作成)【奥】 ▲震災・水害時に区役所と地域住民との間を取り持つことが重要【奥】 ▲送電線の地下化【新】 ▲未整備地区の整備【新】 【地域のできる復興の事前準備】 ・区との連携強化【奥】 ・震災復興まちづくり模擬訓練をしっかりやる【新】 【中高層・高床化促進地区】 ・高床化住宅のモデルハウス展示【奥】 ・概ね賛成【新】

凡例：魅力(◎) / 課題(▲) / 対応策(→) / 奥戸(奥) / 新小岩(新)

第4回勉強会の内容について

第5回勉強会で作成する地域別構想素案のために、第2・3回の勉強会のキーワードを踏まえ、「地域の将来像」と「地域のまちづくり基本方針」を検討



### 1. 地域の将来像（10～20年後）の検討

- ・どのようなまちになってほしいですか。
- ・将来像が実現すると暮らしはどのようなになっていますか。

### 2. 地域のまちづくりの基本方針の検討

- ・地域の将来像の実現に向け、まちづくりの基本方針を考えましょう。

### 3. 第2回・第3回勉強会の意見の再確認

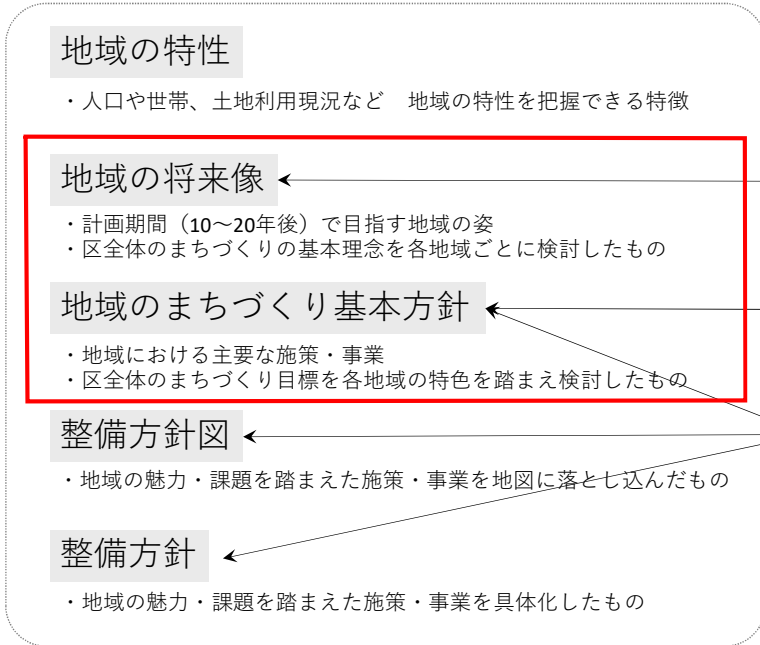
- ・第2回・第3回勉強会の意見のうち、場所を特定できない意見について具体の場所を教えてください。

地域別構想の全体像を把握し、地域の将来像と地域のまちづくり基本方針のイメージを明確化

### 地域別構想

○地域別構想は「地域の特性」、「地域の将来像」、「地域のまちづくり基本方針」、「整備方針図」、「整備方針」の5つから構成される。

本日の検討内容



### 座学

○地域の将来像と地域のまちづくり基本方針及び、整備方針図の一部を検討するため資料を提示

**[策定委員会における]**  
まちづくりの基本理念

**[策定委員会における]**  
まちづくりの目標

- ・区民アンケート結果
- ・第2・3回勉強会で得られたキーワード

## 策定委員会におけるまちづくりの基本理念

○葛飾区基本構想における将来像実現に向け、都市計画マスタープランで受け持つ部分を反映

### 葛飾区基本構想

**将来像**

みんなで作る、水と緑と人情が輝く暮らしやすいまち・葛飾

河川、美しい花や緑に囲まれた自然環境、思いやりの心あふれる人情に支えられた人と人とのつながり、地域、文化、産業などの本区の特徴を磨き上げ、輝かせながら、誰もが生涯にわたって安全・安心・快適に自分らしく暮らし続けられるまち「葛飾」

将来像実現に向け、  
都市マスで受け持つ部分

### まちづくりの基本理念

**みんなで作る、  
水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる  
『かつしか』**

○まちづくりの基本理念に基づき、6つの分野別方針に関連する内容から、5つのまちづくりの目標を設定

まちづくりの基本理念

みんなで作る、水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる『かつしか』

まちづくりの目標

人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち

様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち

安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち



主要生活道路の拡幅



東金町一丁目西地区市街地再開発事業イメージ図



(国交省HP 道路ビジョン2040)



自転車レーンの整備



新金貨物線状況(葛飾区基本計画)



浸水対応型拠点高台

誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち

多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち



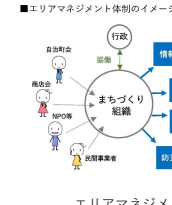
公園内のカフェ設置 国土交通省HP



中川を親しむ会



復興訓練の進め方



エリアマネジメントなどの主体的な取り組み(金町まちづくりプラン)



エリアマネジメント取組事例(神奈川東海老名市) 駅前広場を活用したイベント 防災教育

地域の将来像(たたき台)、まちづくりの基本方針(たたき台)

○これまでの成果を踏まえ、地域の将来像(たたき台)やまちづくりの基本方針(たたき台)を作成

水元・金町・新宿地域

地域の特徴(各地域の現況データより)

- 人口密度が最も低く、子供のいる世帯割合が最も多い
- 公園・運動場等の面積割合が最も多く、商業系用途地域の割合が最も少ない
- 地震に対する各危険度等は最も低く、総合危険度も最も低い
- 公園や大学が地域の魅力である一方、鉄道やバスなどの公共交通が不便
- 農地等の保全・活用への意識が高いものの、農地は減少傾向

地域の将来像(たたき台)

金町駅周辺の賑わいや活力と水元公園の豊かな緑・水辺など都市の快適性が享受できる持続可能な住み良いまち

まちづくりの基本方針(たたき台)

- ①公園と河川、農地など緑豊かでゆとりと潤いある住環境の形成
  - ・水元地域の寺社林・屋敷林などの緑の保全
  - ・農地や民地の緑の維持
- ②快適な交通ネットワークの構築と歩きたくなる歩行者空間づくり
  - ・幹線道路網の整備
  - ・金町駅から水元公園への交通ネットワークの推進
  - ・金町駅周辺の広域拠点を中心に地区内交通の利便性の向上
- ③賑わいと活力のある広域拠点の形成
  - ・駅周辺の再開発による基盤整備や多機能化
  - ・金町駅の利便性の向上
  - ・地元商店街の空き店舗活用や回遊性確保
  - ・エリアマネジメントの推進
  - ・新宿は、居住・教育・医療福祉などの多様な機能が集積する生活拠点
- ④地区特性に応じた調和のとれた土地利用と安全で災害に強いまちづくり
  - ・水元中央通り以北の農地の保全
  - ・金町駅周辺の再開発にあわせた災害拠点の整備



○これまでの成果を踏まえ、地域の将来像（たたき台）やまちづくりの基本方針（たたき台）を作成

## 柴又・高砂地域

### 地域の特徴（各地域の現況データより）

- 昼夜間人口比が最も低く、夜間人口が唯一減少傾向にあり、5年前の常住地は現住所のままが最も多い
- 住宅用地の面積割合、住居系用途地域の割合共に、最も多い
- 地震に関する災害時活動困難度が最も高く、総合危険度が、青戸・立石・四つ木地域に次いで高い
- 寺社仏閣や河川等の水辺空間が地域の魅力である一方、駅周辺に生活に必要な商店や施設・サービスが不足し、大規模な土地利用が適切に行われていないと感じているなど課題も多い
- 将来、災害に強いまちを望む意識が低い、災害時活動困難度は高く、道路基盤などが不足

### 地域の将来像（たたき台）

#### 魅力ある景観資源と充実した都市機能との連携による賑わいと活力が持続するまち

### まちづくりの基本方針（たたき台）

- ①柴又界隈を中心とした魅力ある景観まちづくり
  - ・柴又の歴史的資源の保全
  - ・歴史的な街並みを生かした街なかの回遊性向上
  - ・柴又駅周辺の都市基盤整備により観光と良好な生活環境の共存
- ②京成本線の連続立体交差事業の早期実現・魅力と活力あふれる高砂駅周辺のまちづくり
  - ・高砂駅周辺：連続立体交差事業の推進、駅前広場等の都市基盤の整備、土地の高度利用、建築物の共同化
  - ・都営団地建替えや鉄道車庫の移転等を契機とした商業・業務機能の誘導
- ③水辺と拠点をつなぐ緑の道の構築
  - ・歴史的資源・江戸川堤防・柴又公園等を活かし、柴又駅や高砂駅などの拠点を結ぶ、歩いて楽しい歩行者ネットワークの形成
- ④快適な住環境の形成と商業・業務等施設が調和した災害に強いまちづくり
  - ・高砂駅周辺は商業環境と調和した住宅市街地の形成
  - ・密集市街地の都市基盤整備
  - ・低未利用地の有効活用

○これまでの成果を踏まえ、地域の将来像（たたき台）やまちづくりの基本方針（たたき台）を作成

## 亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋地域

### 地域の特徴（各地域の現況データより）

- 人口密度が最も高く、5年前の常住地は、他道府県からの割合が最も多い
- 空家数が最も多く、空家率が最も多い
- 地震に関する危険度の高い地域が荒川に近い、地域の西側に多く見られる
- 大型集客施設が地域の魅力である一方、葛飾区の課題として震災や火災、水害への対策が不十分と感じている
- 生まれてから住んでいることが在住理由として多いが、持ち家率は低い

### 地域の将来像（たたき台）

#### 亀有駅前の広域拠点を中心とした商業の賑わいと堀切菖蒲園などの地域資源や緑・水辺を生かした、安全で快適なまち

### まちづくりの基本方針（たたき台）

- ①人々が集い、憩う個性あふれる魅力と賑わいある拠点の形成
  - ・亀有駅周辺：地元商店街と大型店が一体となった商業・業務・サービス機能の充実、個性ある広域拠点としての魅力向上
- ②燃え広がらない・燃えないまちづくり
  - ・堀切地区：木造住宅密集地域の解消、道路等の基盤整備、建物等の不燃化
- ③観光施設を生かした魅力ある市街地の創出
  - ・全国区の知名度を持つキャラクターを生かした商店街の街並みの整備
  - ・堀切菖蒲園と地元商店街の回遊性の確保
  - ・堀切菖蒲園船着場の有効活用
- ④地域の魅力を生かした歴史文化の薫る賑わいのある景観整備
  - ・南綾瀬駅・お花茶屋駅周辺：地域の自然・歴史資源をつないだ歩いて楽しい歩行者ネットワークの形成、路地空間の風情の維持・保全に配慮した景観形成

○これまでの成果を踏まえ、地域の将来像（たたき台）やまちづくりの基本方針（たたき台）を作成

**青戸・立石・四つ木地域**

地域の特徴（各地域の現況データより）

- 昼間人口比率が唯一減少傾向にあり、持ち家率は最も高い
- 公園・運動場等の割合が最も少なく、工業系用途地域の割合が最も多い
- 地震に関する建物倒壊危険度、火災危険度、総合危険度が最も高い
- 文化施設やまちなみ・景観が地域の魅力である一方、バスやタクシー等に乗れる駅前広場が少ない
- 水辺や公園、みどりが豊かなまち、との意識が低い、水辺・河川・水路の割合は最も多い

地域の将来像（たたき台）

**区の中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、親水性にあふれる安全・快適なまち**

まちづくりの基本方針（たたき台）

- ① **かつしかの核となる拠点形成と拠点間、地域間ネットワークの構築**
  - ・立石駅周辺：広域拠点として生活サービス機能や公益サービス・交流・交通機能の充実、再開発による防災性の向上、区の中心部にふさわしい街並みの形成
  - ・青砥駅周辺：駅前の基盤整備、交通結節機能の向上
- ② **京成押上線の連続立体交差事業と合わせた周辺まちづくり**
  - ・連続立体交差事業の推進 ・高架下の有効活用 ・沿線まちづくりの推進
  - ・四ツ木駅周辺：地域の顔となる街並みの形成、身近な生活サービスの提供の場となる地域生活拠点の形成
- ③ **防災性を重視した魅力と活力に満ちた住工共存の市街地の形成**
  - ・木造住宅密集地域：住民と行政の協働で防災まちづくりの推進
  - ・住宅と町工場が混在する地区：町工場が安心して操業し続けられる環境づくり  
生活となりわいが共存する活気あふれるまちづくり
- ④ **河川を軸とした親水性あふれる安全・快適なまちづくり**
  - ・中川の親水テラスの整備 ・東立石緑地公園を基点に親水性の高い回遊空間づくり

○これまでの成果を踏まえ、地域の将来像（たたき台）やまちづくりの基本方針（たたき台）を作成

**奥戸・新小岩地域**

地域の特徴（各地域の現況データより）

- 世帯当たりの人数、高齢者等がいる世帯割合が共に、最も少ない
- 準工業地域の用途地域指定割合が最も多い
- 地域の中では、新小岩3丁目及び西新小岩5丁目の地震に関する総合危険度が高い
- スポーツ施設、商店街や工場等の地域産業が魅力
- 水辺や公園、みどりが豊かなまち、との意識が低い、水辺・河川・水路の割合は最も多い

地域の将来像（たたき台）

**駅周辺の魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く生き活きと暮らせる多世代のまち**

まちづくりの基本方針（たたき台）

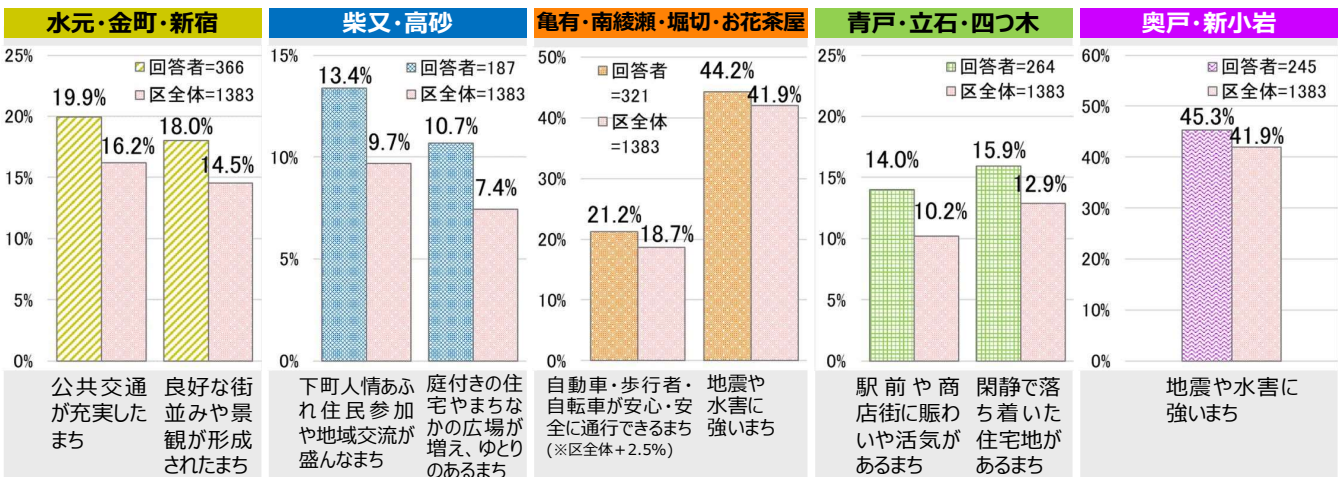
- ① **多世代にとって魅力的な広域拠点の形成**
  - ・新小岩駅周辺：商業・業務、医療・福祉、文化・交流などの多様な都市機能の誘導、多世代の居住に対応した質の高い住宅の整備、駅前広場や自由通路の整備による交通結節機能の強化、駅周辺の回遊性の向上、エリアマネジメントの推進
- ② **公園の高台化と木造住宅密集地域の解消による災害に強いまちづくり**
  - ・新小岩公園再整備による一部高台化
  - ・地域危険度の高い地域：主要生活道路の整備、細街路や行き止まりの解消、建築物の不燃化や共同化
- ③ **安全で快適な歩行空間の確保とすべての人にやさしいまちづくり**
  - ・都市計画道路の整備に合わせた沿道まちづくり・安全な歩行空間のために無電柱化や自転車レーンの整備
  - ・駅を中心にバリアフリー化や公共交通網の充実
- ④ **中川を軸とする親水と浸水に対応した、魅力あるネットワークの形成**
  - ・公園やスポーツセンター等を結ぶ水辺の回廊の形成 ・親水と浸水に対応した施設

# 座学②

- ・ 区民アンケート結果
- ・ 第2・3回勉強会で得られたキーワード

## 地域の将来像 | 区民アンケート (令和2年度)

<b>水元・金町・新宿</b>	◎公共交通の充実 ◎良好な街並みや景観の形成
<b>柴又・高砂</b>	◎下町人情あふれ住民参加や地域交流が盛んなまち ◎庭付きの住宅やまちなかの広場が増え、ゆとりのあるまち
<b>亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋</b>	◎自動車・歩行者・自転車が安心・安全に通行できるまち ◎地震や水害に強いまち
<b>青戸・立石・四つ木</b>	◎駅前や商店街の賑わいや活気がある ◎閑静で落ち着いた住宅地がある
<b>奥戸・新小岩</b>	◎地震や水害に強いまち



※区全体の回答割合より+3%以上の差がある選択肢を抽出してグラフを作成しています。

水元・金町・新宿地域

【凡例】◎：魅力 ▲：課題 ⇒：対応策

詳細は参考資料1参照

土地利用	
住環境	◎閑静な住宅地、大学生が増えて街が若くなった ▲地域全体で生垣を推進して「田園都市」に
空き家	▲長い間空き家が続いており、印象が悪い
商店街	◎駅前商店街がコンパクトにまとまり買い物に便利 ▲店舗の魅力・種類が少ない、空き店舗の増加
施設	◎公共施設が充実 ▲総合病院の誘致 ▲清掃工場周辺を体育・芸術ゾーンに ▲宿泊施設がない
その他	⇒街の問題解決を行う活動拠点づくり(場所と人材)
交通	
公共交通	▲バス本数が少ない、駅～区役所のバスがない ⇒ミニバス、シェアサイクル、乗合ワゴンタクシーの活用 ▲地下鉄8号線と新金貨物線を水元へ延伸
金町駅	▲改札の混雑、北口はタクシー乗降時に雨に濡れる ⇒北口・西口改札の新設 ▲駅近に街の案内板や外国人用の道路案内がない
歩道	▲北口駅前歩道が狭い ⇒無電柱化、歩道整備等
自転車	▲幅員が狭く、自転車と歩行者の交差困難 ⇒自転車歩行者専用道の整備、道路拡幅、段差解消 ⇒駐輪場を駅周辺に分散、駅前に自転車を進入させない
緑・景観	
公園	▲駅から水元公園へのアクセス ⇒駅から水元公園への誘導標識の増設、アクセス整備 ▲にいじゅくみらい公園が活用されていない ▲東金町3丁目や新宿は子どもが遊べる公園がない
生産緑地	◎生産緑地が多い ▲農地が急速に減少 ⇒生産緑地を緑地のまま維持する場合は税金緩和
景観	▲清掃工場の煙突建屋の色彩デザインを周辺環境と調和 ⇒水元中央通りの修景、クラウドファンディングの活用等

市街地整備	
金町駅周辺	▲駅前の道狭い ⇒バス等の一方通行化／道路拡幅 ▲南北交通と駅舎 ⇒西口・東口改札、地下道の拡張 ⇒水元にも地域の拠点を設定、図書館・保健所がある所に地区センターを移転して生活拠点とする
拠点形成	▲水元中央通りの街並み景観形成、店舗の誘致 ⇒沿道に地区計画の導入、電柱の地中化
公園	▲子どもが遊べる広場がない ⇒西水元水辺の公園を広々と遊べるように整備
住環境	▲建売業者による密集住宅の増加 ⇒庭園木・屋敷林を保存するため「田園住居地域」の指定
エリマネ	▲水元地域でエリマネ組織を設立できるのか
防災	
水害対策	▲区民事務所は狭く、浸水するため防災拠点とならない ⇒生活拠点に位置づけ、区民事務所・図書館等の移転 ▲水害時、マンションに避難したくても事前に協定が必要
防災意識	▲想定される水害を真剣に意識してもらう対策が必要 ⇒地域の魅力、防災づくりなど、都との連携をもっと強く
地域内の連携	⇒町会、商店街、理科大、企業等の防災ネットワーク設置 ⇒理科大と地元が協定を締結し、若者を派遣してもらう
情報発信	▲防災公園や防災設備があるのに区民に知られていない ⇒新しく来た人も情報を把握できるように情報発信
空き家	▲空き家があり火事の心配 ⇒空き家の解体
復興	
残したい魅力	◎中川土手の遊歩道や水辺の公園、大場川の桜 ◎にいじゅくみらい公園、江戸川土手の取水塔等の風景
解決したい課題	▲道路啓開や救援できるように道路整備 ▲線路沿いに東西方向の道路整備 ▲無電柱化
復興事前準備	・住民が情報を知るための勉強会等 ・震災復興まちづくり模擬訓練 ・SNS等で情報発信

柴又・高砂地域

【凡例】◎：魅力 ▲：課題 ⇒：対応策

詳細は参考資料1参照

土地利用	
住環境	◎静かな住宅地 ⇒最低敷地、セツバツク、植栽等のルール
空き家	▲今後、空き家の増加 ⇒空き家の有効活用
店舗・商店街	▲商店街の空き店舗の増加、活気ない、飲食店等の減少 ▲子供が利用できる店舗や子供と入りやすい店舗が少ない ⇒空き店舗一覧、賃貸等の助成金、店舗誘致等 ⇒空き家や有効活用できていない公共施設で居場所づくり
観光資源	◎観光資源多い ▲七福神や柴又神社の古墳の活用 ⇒七福神めぐり等の散策ルート
土地利用	▲大規模な空き地の活用 ⇒旧明石小建物等の活用等 ▲新柴又駅の高架下を有効活用
交通	
鉄道	◎鉄道の利便性 ▲開かずの踏切、新金線の旅客化 ⇒京成線立体化は新金線を考慮、新金線旅客化の実現、京成線～新金線の乗り換え利便性
駅前	▲駅前へ車で行きにくい、高砂駅周辺は一方通行が多い、駅前にロータリーや待ち合わせできる広場がない ⇒南口のロータリー検討、駐車場整備、駅付近を歩きやすくするため一方通行化
バス	▲南北のバス路線が少ない ⇒コミュニティバスの検討
道路	▲歩道が狭い ⇒無電柱化、鉄道立体化に合わせ拡幅
緑・景観	
公園	◎公園が多い ▲公園が少ない、特色がない ⇒対象年齢を分けた公園整備、高砂北公園に特色づけ、中川沿いや京成車庫跡地に公園整備
緑	▲敷地の細分化で屋敷林が減少、緑に親しめる場所がない ⇒地区計画等で住宅地の建物の高さや壁面位置の制限
水辺	◎水辺が豊か ▲水辺は賑わい少ない、利用されていない ⇒中川に面した中規模公園の設置、新たなイベント検討
景観	◎街並みのルールが充実、重要文化的景観 ▲特色のある道路が少ない

市街地整備	
柴又・新柴又	▲柴又駅は車でアクセス困難、道が狭く大型車進入不可、駅に空間が少ない ⇒住民と話しして可能な区画整理
高砂駅	▲道が狭い ⇒無電柱化、駅前整備 ▲駐輪場が少ない ⇒駅前再開発時に駐輪場の整備 ▲平日昼間の人通りが少ない、人が集まる場所がない ⇒空き店舗活用、観光客・留学生・住民が集える機能 ⇒京成車庫跡地を魅力ある開発
エリマネ	▲エリマネ活動をしたいでも、始め方がわからない ⇒川・道路沿いの小さな活動から始め、活動エリアを広げる
防災	
水害対策	▲高台の避難場所の整備が必要 ⇒鉄道高架化と駅整備時に避難場所を確保 ⇒駅前再開発の時に避難機能をつけたビルの整備 ▲避難できる大規模公園がない ⇒洪水時に遊水地となる親水公園と水辺の整備
延焼遮断帯	▲建物の倒壊により道路が塞がらない幅員を ⇒延焼遮断帯道路の建設、道路の拡幅
木造密集地	▲柴又駅周辺は古い建物が多い ▲拠点地域は木造が密集、緊急車両が通れない地域あり ⇒道路拡幅、不燃化促進や密集市街地整備等の推進
防災意識	▲防災器具等を設置しない等、住民の防災意識が低い ⇒消防や京成と協力して駅前エリアで防災訓練の実施 ▲水害訓練が必要 ⇒訓練の実施、訓練のイベント化
復興	
残したい魅力	◎下町らしさ、寺社、坂が少ない ◎駅、寺社、公園、商店街、閑静な住宅地、水辺空間
解決したい課題	▲道路整備 ▲道路拡幅 ▲小川・水路の復活 ▲緑地・水辺の割合を倍増
復興事前準備	・コミュニティ形成に向け、まちづくりに関するイベント開催 ・様々な世代が参加しやすい復興模擬訓練の実施

## 亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋地域

【凡例】◎：魅力 ▲：課題 ⇒：対応策

詳細は参考資料1参照

土地利用	
住環境	◎ 閑静な住宅地、長く住んでいる人が多く人情味がある
商店街	▲ 下町の商店街の維持 ⇒ 下町らしさと駅前での利便性等の両立、下町らしさを守る 建築規制(高さ・容積率の制限)、シャッター対策
土地活用	▲ 都営住宅建替に伴う跡地活用 ⇒ 地域要望を確認し都の空地の活用(避難場所や交流の場) ▲ 空き家・空き地・駐車場の増加 ⇒ 地域に人を呼込む仕掛け、足立区と連携したまちづくり ◎ 拘置所の広場が開放的 ⇒ 拘置所をイベントスペースに
高架下	▲ 京成の線路下が使えない

交通	
亀有駅周辺	▲ 亀有駅北口は広場・道路が未整備、歩みにくい ⇒ 亀有駅周辺の改善
お花茶屋駅	▲ お花茶屋駅下りにエレベーターない ⇒ エレベーター設置など、鉄道事業者と話し合い
バス	▲ バスの本数が少ない ⇒ バス本数の増便
道路	▲ アリオ周辺の土日の交通渋滞 ▲ 道狭い、一方通行多い、堀切菖蒲園駅への歩道が狭い
自転車	▲ 自転車レーンの途切れ、駅周辺の駐輪場が少ない ⇒ 自転車レーン、駅周辺の駐輪場、シェアサイクルの整備

緑・景観	
公園・緑	◎ 公園・緑が充実している ▲ 公園整備の充実、都営住宅の公園が利用されていない ⇒ 公園・緑道を活用し、地域の交流の場に(マルシェ等) ⇒ 各緑道がうまく繋がっているとよい ▲ 緑道の管理がもっときれいになるとよい ⇒ 民間活力による公園・緑地管理、効率的な管理手法
景観	◎ 昭和的な地域、四季の道等の魅力的な街並み ⇒ 昭和の風景として保全する

市街地整備	
亀有駅	▲ 駅北口はロータリー整備、周辺景観、空き家、道路基盤 ⇒ 駅前広場、道路、空き家、景観の改善
堀切菖蒲園駅	▲ 駅前広場がほしい ⇒ 駅周辺に行政・病院の複合施設、駐輪場の整備 ⇒ サイネージやWi-Fiで堀切菖蒲園へ人の流れをつくる
綾瀬駅	▲ 綾瀬駅の市街地整備が足立区任せ ⇒ 駅ビルの建設(医療、ホテル、学校、スーパー、飲食、駐車場等)
駅周辺の機能	⇒ 区民事務所、保育園、イベント広場、若者が気軽に立ち寄れる商業施設(カフェ、書店、駐輪場、シェアサイクル)
自転車	▲ 駅前商店街利用時の自転車対策 ⇒ 駐輪場だけでなく、気軽に自転車を停めて買い物できる

防災	
水害対策	▲ 水害への対応、水害時の避難場所がない又は不明、マンション等との垂直避難の提携推進 ⇒ 小中学校の改築にあわせて水害対応、堀切菖蒲園駅前の整備にあわせて一時避難できる高層建築物の整備 ⇒ 堤防整備の際、テラス等を整備し、平常時の魅力向上 ⇒ 地下調節地の整備、堤防整備
木造密集地	◎ 細街路整備事業が進んでいる ▲ 木造住宅密集区域があり道が狭い ⇒ 道路の拡幅 ▲ 駅前以外は無電柱化が進んでいない
防災訓練	◎ 小菅拘置所のオープンスペース ⇒ 拘置所への避難を想定した大規模な避難訓練

復興	
残したい魅力	◎ 下町らしさ、公園、寺社、堀切菖蒲園、斎場等 ◎ 小菅一丁目の街並み、堀切菖蒲園、水路、文化財
解決したい課題	▲ 亀有二丁目の密集の区画整理、緑道の改善 ▲ 区画整理で作り直すことが必要
復興事前準備	・若者が集まれる広場等の整備、草の根ワークショップ、住み続けたいと思える魅力的なまちづくり等

## 青戸・立石・四つ木地域

【凡例】◎：魅力 ▲：課題 ⇒：対応策

詳細は参考資料1参照

土地利用	
住環境	◎ 青戸：日常の買い物は便利、主要な公共施設がある ◎ 立石：マンションができて子供が増え活気 ◎ 四つ木：工場があり昼間も人がいて子供を見守り
商店街	▲ 青砥駅内の商業施設に活気がない ⇒ 協議会の再編 ▲ 立石駅周辺・商店街の賑わい、個店の立地誘導 ⇒ 生活に密着したお店の誘致 ▲ 商店街の宅地化が進む ⇒ 商店を維持するためのルール
高架下活用	▲ 京成線高架下の土地利用 ⇒ 高架下の利用、高架下に公共施設整備(駐輪場等)

交通	
青砥駅周辺	▲ 道路が狭い、歩道がない・狭い ⇒ 無電柱化、道路の断面構成の検討
立石駅周辺	⇒ 駅前広場の充実、駅周辺で買い物できる環境の形成 ⇒ 駅を中心にコミュニティバスの整備、自転車の安全利用
四つ木道路	⇒ 四つ木駅前にタクシー乗り場の整備 ▲ 通過道路多い ⇒ 通過交通の時間制限、ゾーン30 ▲ 奥戸街道の渋滞 ⇒ 道路の拡幅 ▲ 道が狭い ⇒ 四つ木商店街を歩きやすくする
自転車	▲ 駅から駐輪場遠い、四つ木商店街は自転車でも走りにくい ⇒ 駅近くやバス停に駐輪場の設置、自転車レーンの整備

緑・景観	
公園	▲ 青砥駅近くに公園がない、公園の整備と拡充が必要 ⇒ 空き地に公園整備、青戸平和公園の再開発 ▲ 住宅地は敷地が狭くて緑を置けない ⇒ 大きな公園の整備、東立石緑地公園周辺に店舗誘導
緑	▲ 中川、桜通り等、区役所～駅まで魅力の継続 ⇒ 中川～桜通りに桜以外の魅力創出(四季折々の植栽)
水辺	▲ 土手が緑地ではなくスポーツ広場、散歩以外の活動 ⇒ 土手の芝生化、土手・河川敷・水辺を試しにしてみる ▲ 土手の道路が狭い、暗い、わかりづらい、上りにくい

市街地整備	
青砥駅周辺	▲ 駅前広場又はロータリーが必要、タクシー乗り場の不備、駅にバスが乗り入れられない、駅周辺の道路拡幅 ⇒ 駅広の再開発、駅南側にバス・タクシー・駐輪場の整備
立石駅周辺	▲ 再開発エリア周辺の基盤整備、街並み整備が必要 ⇒ 駅周辺の一体的整備、広いエリアのランドデザイン ▲ 大きな公園の整備 ⇒ 人を集められる街づくり ▲ 道路整備の不備 ⇒ 奥戸街道の整備 ⇒ 水道みち整備、駅北口広場のアプローチ道路は複数必要 ⇒ 南北方向の道路を整備し、拠点にアプローチしやすくする
四つ木駅周辺	▲ 駅前広場ない、大型車通れない、一方通行、狭い道等 ⇒ 駅前にバスが停まれるスペースの整備 ⇒ 高架下を活用し、駐輪場、公園、保育園、病院等 ⇒ 複雑な道の簡素化/案内強化、狭い一方通行の解消

防災	
水害対策	▲ 水害の不安、高台に避難する建物が少ない ⇒ 青戸消防署跡地の再利用、URの空き地利用等 ⇒ 再開発の際に周辺の人もマンション等に避難できるように ▲ 地区センターは狭い、避難所に住民を収容しきれない、学校の避難所が水害時に対応できるか ⇒ 浸水対応建築物に大型商業施設の駐車場等を指定、小中学校を高台化、高台となる大きな公園の整備
木造密集地	▲ 道路が狭い、木造住宅が密集している ⇒ 道路拡張、無電柱化、地区計画の活用

復興	
残したい魅力	◎ 青戸平和公園、まちの産業である工業地域、神社、立石駅前の対面販売、スカイツリーへの眺望
解決したい課題	▲ オープンスペース・公園の確保、無電柱化、かさ上げ ▲ 密集市街地の区画整理、立石駅前商店街のあり方
復興事前準備	・災害時の水路の活用、船着き場 ・リスク・まちの復興を話し合うことから始める

## 奥戸・新小岩地域

【凡例】◎：魅力 ▲：課題 ⇒：対応策 詳細は参考資料1参照

土地利用		市街地整備	
店舗・商店街	▲商店の魅力がない、種類に偏り、おしゃれな店が少ない ⇒おしゃれな店の誘致、駅前再開発ビルに魅力的な店、エリマネでイベント活性化	駅前広場	▲東北広場の活用が進んでいない ⇒北口駅前広場の有効活用(マルシェ等の開催)
施設	▲区役所関連の施設が少ない ⇒区役所の支所がほしい	駅前周辺の機能	・駅前北側をベテストリアンデッキで繋ぐ ・ホール、図書館、ホテル、複合店舗、駐輪場、レンタルルーム等
跡地利用等	▲森永乳業跡地利用 ⇒雇用創出、防災公園、支所等 ▲UR団地のストック再生	公園	▲区の公園が少なく、子どもの遊び場がない ⇒小規模な公園の整備、児童遊園はあるが魅力がないため、もっと区民が関わるようにする
その他	▲新小岩と奥戸の一体感がない	道路	▲道路の広さと建物の均一化、道路が狭い ⇒歩道のバリアフリー化と無電柱化、区道の拡幅
交通		防災	
公共交通	▲バスの本数が少ない、病院への巡回路線バスがない ⇒小型バスの運用、亀有・金町方面のミニバスの運行 ▲公共交通で北方面に行きづらい ⇒北側へ行くバスは東北広場に集約	水害対策	▲水害時の避難所対策 ⇒学校建替え時に浸水対応型の建設 ⇒奥戸消防跡地の利用(防災公園等) ⇒旧松南小の高台化と防災活動拠点化 ⇒商業施設と協定を結び、立体駐車場に避難できるように ⇒水害時にマンションに一時避難できるようにする
駅前歩道	▲東北広場がさみしい ⇒店舗の誘致、JR出口の新設 ▲歩道が狭い ⇒バス道路の無電柱化、幹線道路に歩道 ▲歩道は歩行者と自転車が混在 ⇒無電柱化で歩道を拡張し、歩行者と自転車の区別	避難場所	⇒避難場所として、生産緑地の活用、防災公園の整備(森永乳業跡地の活用)
自転車	▲自転車が危ない、駐輪しづらい ⇒自転車専用道、駐輪場の整備	避難路	▲南側から新小岩公園に抜ける避難路がない
緑・景観		木造密集地	▲密集地区がある ⇒小規模戸建てが建たないようにルール、商店街の不燃化
公園	▲子育て世代が使える公園、お年寄りが休める場所がない ⇒大きな公園、ひと休みできる四阿等の整備 ▲新小岩公園を活用できていない、児童遊園は魅力がない ⇒魅力あるイベントの開催、土地を借りて公園の整備	防災意識	▲区民が災害に関心、防災訓練への参加が少ない ⇒町会からSNSで発信
緑	⇒街路樹は景観の良い、管理しやすいものに	復興	
水辺	▲新中川の土手が活用されていない ⇒河川敷にボラダング施設の誘致、土手に花を植える ▲荒川が活用できていない、魅力がない ⇒荒川へのアクセス整備、サイクリングロード等を整備し公園化	残したい魅力	◎交通公園、寺社、七曲、下町らしさ、人情・文化
		解決したい課題	▲復興計画の活用方法(町会単位で作成) ▲送電線の地下化、未整備地区の整備
		復興事前準備	・区との連携強化 ・震災復興まちづくり模擬訓練をしっかりとやる

## グループワーク

- ・地域の将来像の検討
- ・まちづくりの基本方針の修正

## 1. 地域の将来像の検討

- 10～20年後の地域の将来像について、どのようなまちになってほしいですか？（〇〇のあるまち等）
- その将来像が実現すると、地域の暮らしはどのようになっていますか？

## 2. 地域のまちづくりの基本方針の検討

- 地域の将来像の実現に向けて、地域のまちづくりの基本方針を検討しましょう。

## 3. 地図に描き込み

- 第2回・第3回勉強会の意見のうち、場所を特定できない意見について、具体の場所を教えてください。
- また、課題や対応策の追加等があれば教えてください。

# グループワークの流れ

## 1. 個人ワーク①（10分）

- ふせんに**地域の将来像**と、**将来像が実現した場合の暮らしのイメージ**を記入してください。

## 2. グループ意見交換①（25分）

- グループ内でふせんを発表し、意見を整理しましょう。

## 3. 個人ワーク②（10分）

- 地域のまちづくりの基本方針（事務局たたき台）を基に、ふせんに**追加したい取り組み**等を記入してください。

## 4. グループ意見交換②（25分）

- グループ内でふせんを発表し、意見を整理しましょう。

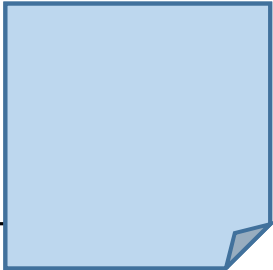
## 5. 地図に描き込み（30分）

- 第2・3回勉強会の意見のうち、場所を特定できない意見について具体の場所を教えてください。

# 個人ワーク① | 地域の将来像

- 以下の材料を参考に、葛飾らしさや地域らしさを意識しながら、地域の将来像、将来像が実現した際の暮らしのイメージを検討し、ふせんに記入してください。

- ・ 区の将来像
- ・ 区のまちづくりの基本理念・目標
- ・ 各地域の特色
- ・ 第2回・第3回勉強会の結果
- ・ 区民アンケート結果



※ 1つのふせんに、1つの意見を記入してください

# グループ意見交換①

## ■ 模造紙の整理イメージ

区の将来像	<b>みんなでつくる、水と緑と人情が輝く、暮らしやすいまち・葛飾</b> 河川、美しい花や緑に囲まれた自然環境、思いやりの心あふれる人情に支えられた人と人とのつながり、地域、文化、産業などの本区の特性を磨き上げ、輝かせながら、誰もが生涯にわたって安全・安心・快適に自分らしく暮らし続けられるまち「葛飾」
まちづくりの基本理念・目標	<b>みんなでつくる、水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる『かつしか』</b> (1) 様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち (2) 人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち (3) 安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち (4) 誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち (5) 多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち



地域の将来像	
将来像が実現した際の区民の暮らし	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; text-align: center;"> <p>自分のふせんを発表しながら、 模造紙に貼り付けてください</p> </div> <p>※自分と同じ意見が出たら、 ふせんを模造紙に貼ってください</p>

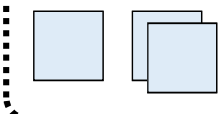
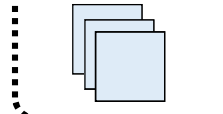
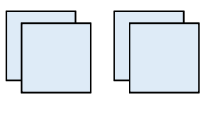

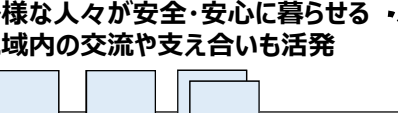


# グループ意見交換①

## ■ 模造紙の整理イメージ

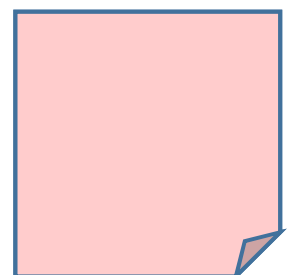
区の将来像	<b>みんなでつくる、水と緑と人情が輝く、暮らしやすいまち・葛飾</b> 河川、美しい花や緑に囲まれた自然環境、思いやりの心あふれる人情に支えられた人と人とのつながり、地域、文化、産業などの本区の特性を磨き上げ、輝かせながら、誰もが生涯にわたって安全・安心・快適に自分らしく暮らし続けられるまち「葛飾」
まちづくりの基本理念・目標	<b>みんなでつくる、水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる『かつしか』</b> (1) 様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち (2) 人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち (3) 安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち (4) 誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち (5) 多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち

共通点などを整理し  
将来像を設定します

地域の将来像	豊かな緑・水辺と賑わい・活力ある広域拠点が調和した、誰もが安心して快適に暮らせるまち		
将来像が実現した際の区民の暮らし	駅から水元公園へのアクセス向上 	駅周辺で様々なサービスをワンストップで受けられる 	駅周辺が歩きやすく回遊しやすくなる 
	緑豊かな暮らし 	多様な人々が安全・安心に暮らせる地域内の交流や支え合いも活発 	

## 個人ワーク② | 基本方針



- 地域の将来像の実現に向けて、地域のまちづくりの基本方針（事務局たたき台）を基に、**追加したい取り組みやキーワード**を検討し、ふせんに記入してください。
- 各地域の特色や第2回・第3回勉強会結果を参考にしながらご検討ください。



※ 1つのふせんに、1つの意見を記入してください

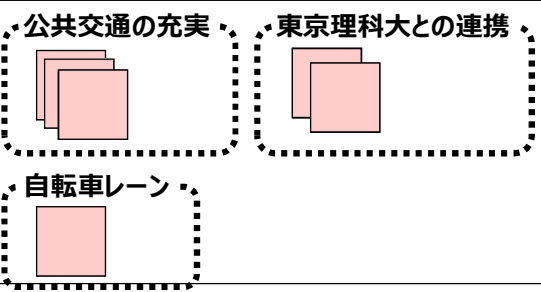

# グループ意見交換②

## ■ 模造紙の整理イメージ

まちづくりの 基本理念	みんなで作る、水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる『かつしか』	
地域の将来像	豊かな緑・水辺と賑わい・活力ある広域拠点が調和した、誰もが安心して快適に暮らせるまち	
まちづくりの 基本方針 (たたき台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公園と河川、農地など緑豊かでゆとりと潤いある住環境の形成</li> <li>➢ 適切な交通ネットワークの構築と歩きたくなる歩行者空間づくり</li> <li>➢ 賑わいと活力のある広域拠点の形成</li> <li>➢ 地区特性に応じた調和のとれた土地利用と安全で災害に強いまちづくり</li> </ul>	
	追加したい取り組みやキーワード	その他
		
	<p>自分のふせんを発表しながら、 模造紙に貼り付けてください</p> <p>※自分と同じ意見が出たら、 ふせんを模造紙に貼ってください</p>	

# グループ意見交換②

## ■ 模造紙の整理イメージ

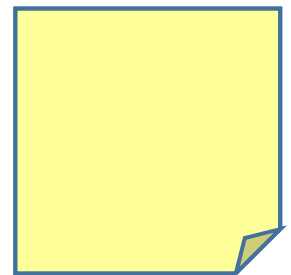
まちづくりの 基本理念	みんなで作る、水と緑豊かな、安全で快適に暮らし続けられる『かつしか』	
地域の将来像	豊かな緑・水辺と賑わい・活力ある広域拠点が調和した、誰もが安心して快適に暮らせるまち	
まちづくりの 基本方針 (たたき台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公園と河川、農地など緑豊かでゆとりと潤いある住環境の形成</li> <li>➢ 適切な交通ネットワークの構築と歩きたくなる歩行者空間づくり</li> <li>➢ 賑わいと活力のある広域拠点の形成</li> <li>➢ 地区特性に応じた調和のとれた土地利用と安全で災害に強いまちづくり</li> </ul>	
	追加したい取り組みやキーワード	その他
		
	<p>共通点などを整理し 修正等の方向性を設定</p>	

# 地図に描き込み

- 第2回・第3回勉強会の意見のうち、場所を特定できない意見について、具体の場所を教えてください。

※参考資料1：第2・3回勉強会の意見まとめに、場所を特定できない意見を黄色網掛けで示しています。

皆さんの意見をお聞きながら、  
ファシリテーターが地図に描き込みます



## 事務連絡

### ■勉強会ニュースの発行

本日の概要を整理した「勉強会ニュース」を作成し、次回の開催通知と一緒に郵送します。

### ■第5回勉強会

地域ごとに開催時間が異なるためご注意ください

令和4年6月11日（土）@男女平等推進センター

**【午前の部】 9時30分～12時**

◎青戸・立石・四つ木 ◎奥戸・新小岩

**【午後の部】 14時30分～17時**

◎水元・金町・新宿 ◎柴又・高砂  
◎亀有・南綾瀬・堀切・お花茶屋

### ■アンケート回答のお願い

次回の出欠を確認するアンケートにご回答ください

# 閉会

本日はありがとうございました  
お手元のアンケートにご回答ください